

# A.V.S. ANGELS

R18







紅茶

——いよいよだ



友人がここに  
来たいと言っから  
連れてきただけだ

ち ちよつとりヒク  
いきなりなんてヒトを  
僕の部屋に招待して  
くれちゃったのR



いよいよ私は  
次回大会より  
計画を実行に移す

これより百年…  
百年間の真の平等を  
経た世界こそが  
未来永劫の繁栄を  
約束されるのだ

…しかし  
それでは！

人間の半数…いや  
半数以上が  
確実に…

そう！

より弱い者から  
消えてゆく…

そしてそれは  
今も同じこと！

ユグドラシルバトル  
という檻は  
ただ一国の強者のみを  
富ましてきた

それをこの先も  
続けるのならば……

真に弱者を救うには  
百年の犠牲が必要だ





…だが  
別の方法があるのなら  
話は変わってくる



……  
っ



今からでも…  
少しでも  
早い方がいい

そうだろうか？  
フフフ……



あーもーあー



最後の  
あれ!

絶対  
ひとつかけらも  
これっぽっちも  
思っけないよね!

……  
アステル……

何!?

なにも  
こんな時まで  
引っ張らないで  
くれ……

ご、  
ごめん……

**下等な  
生命体を  
見るような。**

え……  
そうだったの?

……お前は  
知らんだろうが  
ダオスは大の男嫌いだ  
男にはあの笑みすら  
まず見せることは  
ないんだぞ

人間の男とは  
マンダリン

……もしかして  
ダオスって前は  
マーテル様と……

それはもう  
濃厚な……

天界中が知る  
暗黒の了解だった





...?

.....  
 ダオスをあんなに  
 近くで見たのは  
 初めてだったけど  
 恐ろしく  
 キレイなヒト  
 だったなあ...



!? .....

言っておくが  
 ダオスとはただの  
 古い友人だからな



...待て待て!  
 何か勘違い  
 してないか!?



だって!

ダオスはつまり  
 男嫌いの  
 真性レスビアン  
 ってことですよ!  
 だったら  
 リヒターにも  
 手を出して...

ダオスは  
 マーテル一筋だぞ!  
 というか  
 その格好で力説されても

でも!!

マーテル様と  
 ねんごろに  
 なる前はッ

あの長い指で  
 キミのココをッ

こんな風に  
 揉みくちやにして  
 いたんでしよう!!!

な...っ  
 はア!?





あ…  
よせ……

おい!

あのおわっふわの  
長い髪で  
キミのココを  
弄ったり…

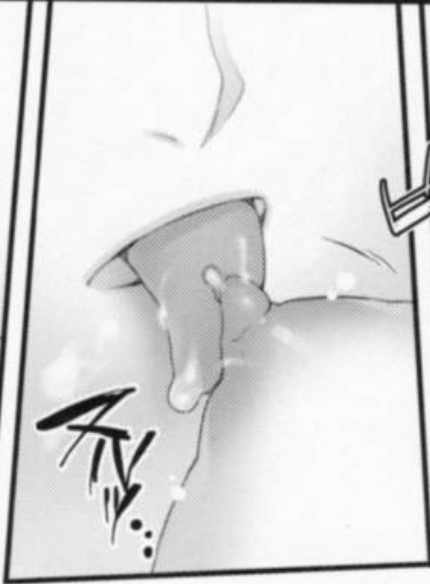
一つ  
仮説を立てると  
後はひたすら  
妄想を膨らませていく  
アステルの癖……

……ッ！  
……ッ！





研究者としては  
ともかく、  
こんなことには  
その才能を使うのは……



でも……  
たまには  
こんなのも……



あの唇で  
ココをこんな風に  
吸い上げたり……







…デリススター？



そして  
あの股間に隠した  
デリススターで

キミのココを  
貫いてたんでしょ!!



……  
はア!!

ダオスに  
そんなモノは  
ついてな…

やっぱり!

リヒターは  
ダオスの身体を  
見たことがあるんだ!!



何故  
そうなる…

!





キミだって知ってたでしょ...?

僕がメチャクチャな奴だってことは...

アステル... お前...

言ってることがメチャクチャだぞ...ッ

今の研究だって...  
 ダオスに内心従ってない  
 ヒト達にすら  
 陰では僕の研究は  
 絵空事だって  
 笑われている.....

.....





アステール.....  
ツ!!

リヒター.....  
リヒター.....  
ツ

あ.....





友人の性的嗜好を  
勝手に言い触らすのは  
気が引けるが……



奴はな……  
ネコ専門だ

時を駆ける  
雄太  
ネコ

!?



……え？  
あのダオスが  
……？

他言無用だぞ  
人間の前に  
オレが消される  
見た目通り  
天よりプライドの  
高い奴だからな

だがマールと  
三人きりになれば  
いつもの高慢な  
態度は一変、  
それはさうこの天界の  
ものとは思えぬ  
可哀らしい声で  
甘えて……

わっわっ  
わかつたわっ  
わかつたからっ

だいたい  
同性なら割にこそ  
賢いガガるとささるの  
編みだぞ

違うよ！  
リヒターは特別カワイイから  
僕は男を断ちたく心配……

……  
正気か？





もう…  
調子狂っちゃう  
よなあ

でもよく  
僕だけは排除されずに  
済んでるよね  
クラトスさんや  
他は皆…

降りかかる火の粉のみ  
払うつもりなんだろう  
あいつは



男嫌いのくせに  
あのバルバトスって  
人間を使ってまで

天界を  
力で従わせて…



オレがダオスと  
通じていると疑うなら…

あの計画についても  
問い質すべきだぞ  
アステル

でも！  
ダオスの  
言うとおりに

僕が  
真の大きいなる実りを  
得る方法さえ  
見つけられ…！！

あの男は  
オレがダオスに…

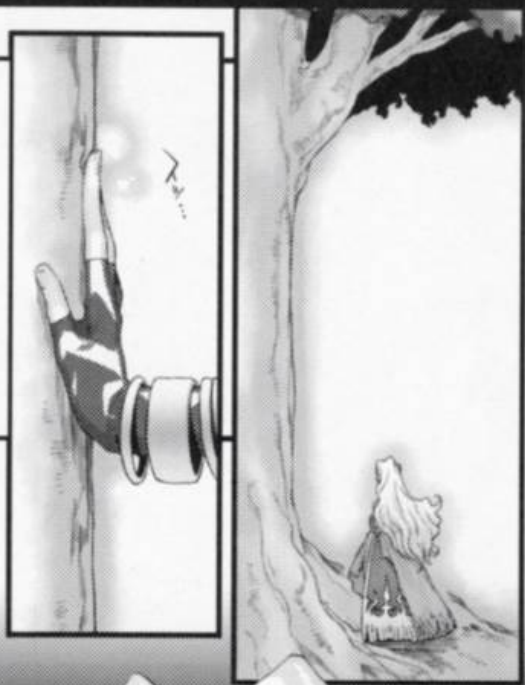
そうだな…

もうあまり…  
時間がない





マーテル……



ダオス……  
こちらへ

マーテル……  
ッ



可愛いダオス……  
期待して  
いるのかしら？

あ……







そんな  
物欲しそうな顔  
他の者の前で  
見せてはダメよ？

む  
無論だ…  
私は…  
マーテルだけ…

うふふ…  
嬉しい



私も  
ダオスにだけ…  
特別なマナの  
祝福を…

ふ…

あ…  
♡  
ンツ

マーテル…





!!!

いかが  
された  
ダオス殿?



バルバトス  
……!  
私は  
神殿の外で  
見張りを  
している  
と言いつけ  
たはずだぞ



なかなか  
戻れないよう  
でしたので  
独断で

……ここは本来  
人間が足を  
踏み入れるべき  
場所ではない

早々に  
立ち去れ

……  
しかし

ダオス殿はなにやら  
体調が優れない  
様子ですが







無礼者  
が……

!?

男嫌いでも  
意地は張らない  
方がいい



……  
手を  
放せ

……面倒な人間だ



このお身体が  
こうされたい  
ようでしたので

貴様  
何をする!!

消されたいのか!?  
今すぐ放せ!



く……  
マーテルの近くでさえ  
なければ  
こんな人間など  
私の力で……!







!!...マーテルの...  
前...で...??

そんな  
物欲しそうな顔  
他の者の前で  
見せてはダメよ?

.....  
私は.....!



...もう一度言う

今すぐに  
私から離れよ



その命令は  
聴けませんなア

...何だと?



先をこんなにも  
尖らせておいて  
放置せよなどと

.....  
ツ!



……  
こんなことを  
して  
どうなるか  
解っているのか

ダオス殿の  
此処が  
湿り出したようだ

な……  
……に……っ！

私が  
意地を張っている……  
だと？

これは……  
違う……

断じて貴様の  
指技ゆえ  
ではない……

私は……  
……ッ

ズキ  
ズキ

グキ  
グキ  
グキ  
グキ

カ  
カ  
カ  
カ  
カ

ズ

ズ  
ズ





これが男…  
…しかも人間の…!!?  
この拘束程度  
撥ね退けるのは  
容易い…が

わ…私は  
マーテルを想っていた  
だけのこと…

だから  
……



ダオス殿を  
傷つける行為は  
致しません

あ……

やめ…

何故か  
身体が震えて……







……？



汚らわしい……  
マール それあなたの前で  
私は……  
このまま……



抗えぬ……  
この私が……  
只の人間に……？  
熱い……  
燃えるようだ



何か  
今……



……？  
何……た……？



いけ……ない

ダオス殿の身体が  
思いのほか  
反応がよく……つい





もはや極刑は免れぬぞ

…私のみならず  
マーテルをも辱めるとは…



マーテル!!



しかし  
もうすぐ  
大会です…

シグルス共から  
フラッグを奪う為に  
私を必要としたのは  
ダオス殿では？

……



今大会が  
つづがなく  
終了した後でも  
遅くはない  
でしょう…

心配は要りません  
私は強い者を  
叩き潰す為だけに  
天界へ  
来たのですから…



…では  
外でお待ちして  
おります



この世で最も  
強い者と闘う為に  
天界になア…

そう…



マールテル…  
私は…！

……  
そろそろか

ああ

あれ  
バルパトスは  
役立っているか？



まあ  
お前のことだ、  
男嫌いでも  
男の扱い方は  
心得ている  
だろうしな

……！



いや…

人間にしては  
よく動いている

少々命知らず  
だが…

……  
どうした？



この私が  
男…しかも人間に  
肌に触れたなど  
…ウヒターにも…

……  
言えぬ…



…アステルは  
まだ諦めては  
いないぞ

そうか…では  
足を運んだ甲斐は  
あったかな？

まったく…  
お前も俺も  
……

おかげでアステルに  
余計な疑いを  
掛けられたかな！

？

マーテルの  
願いを  
叶えるため…

私も私のすべき事を  
為しに行くとしてよう

「覚悟には常に  
後悔が付き纏う」  
…か

いや 大丈夫だ…  
俺は…  
俺達は……



まさかのパーサス本いかがでしたでしょうか…  
毎度のことですが好き放題描けて楽しかったです。  
しかしシリアスのつもりがギャグになってる…ような…  
紳士的というより猫（notネコ）被ってるバルバトスがな～（笑

ちなみに自分の脳内設定ではクラトスさん（♀）は  
うっかり人間の男との子を孕んじゃったので  
ダオスさまに「男、しかも人間と…貴様そのような……っ！！」  
ってな感じでお怒りを買って追放されたことになってます（！？  
そこいらの裏事情には余り詳しくないペーペー天界人のアステル。  
ドキッ♥女だらけの天界トップ勢  
あっ アスラがいたらしいけど… アスラも♀化…すべきか

パーサスの続編とかもう出ないんだろうな～  
ナタリア好きなんで例のサブイベントはいただけませんが  
ストーリーはなかなか楽しかったので残念。  
マーテルさま大好きなダオスさまが最高だったのですよ。  
あの称号は反則だぁ…デリス・カーランへの愛が  
設定変更によってマーテルさま一人に向いちゃってるもんな…  
マーテルさまのパーサス設定はよくワカランのですが  
PとSの要素が両方混じってるイメージです。

ではでは、また次の機会がありましたらよろしくです

マーテルさまのデザインは  
OVAファンタジアから拝借。  
あと 回想ダオスは語彙から。

# V.S. ANGELS

発行 A. P. YAMAMOH  
発行者 やまもー  
発行日 2013年8月12日  
連絡先 <http://yamamoh.blog96.fc2.com/>

印刷

 SUN GROUP  
<http://www.sun-group.co.jp/>





**A.V.S. ANGELS**  
A.P. YAMAMOH  
2013 SUMMER